

# 熊本大学「業務改善表彰」受賞報告

〇須恵耕二 倉田大 有吉剛治 大嶋康敬 松田樹也 山口倫 寺村浩徳 榎菌佑希

電気安全 WG

## 1 業務改善表彰について

熊本大学は毎年、過去 2 年間に対象期間として管理運営面における業務の効率化および合理化の点で特に顕著な功績又は模範として推奨するにふさわしい業務改善努力があった者（部局長等の推薦）に対し、業務改善表彰を行っている。表彰は、審査委員会が業務改善の有形・無形の効果、費用対効果、経済的効果、問題式、改善意欲、着想度などから総合的に審査し、学長によって授与される。受賞者には報奨金が授与されると共に、人事記録にも受賞として記録される。

## 2 改善内容

我々電気安全 WG の各員は、工学部における電気事故の防止と学生安全教育のために、平成 23 年度より第二種電気工事士の資格取得および技能試験対策講習の企画・実施に取り組んできた。

今回の表彰対象期間である平成 27,28 年度においては、これらの取り組みが黒髪事業場全体の電気安全教育の機会として広がり、電気安全意識の啓蒙に繋がっている。

取組の概要は次のとおりである。（推薦書よりの引用）

表 1 業務改善表彰の推薦理由

改善事項	黒髪事業場における電気安全教育の体制構築と実践
取組概要	<p>工学部では過去に大小の電気災害（感電・火災）が繰り返し発生してきたが、電気安全に関する教育は各学科・研究室に任せられ、学部として統一した安全教育は行われておらず、より具体的かつ実効的な電気安全教育の必要性が高まっていた。</p> <p>そこで我々は、H23 年より自主的に第二種電気工事士の国家資格取得に取り組んで順次全員が合格し、工学部生の電気安全教育を推進すべく H24 に工学部の全学生・教職員を対象とした電気安全講演会を開始し、H25 からは学生向けに第二種電気工事士技能試験対策講習会も開始した。</p> <p>これらの実績を踏まえて、黒髪事業場総括安全衛生管理者に対し、H26 年度から黒髪事業場安全衛生委員会主催での「電気安全講演会」の開催を提案すると共に、講師も申し出た。さらに、電気を本格的に扱う研究室の学生・教職員に対する専門的な電気安全教育として、労働安全衛生法に定められる「低圧電気安全衛生特別教育」の開催のため、同講習インストラクター資格も H27・28 年に 1 名ずつ認定を受けた。</p> <p>このように、電気安全教育体制を自らの資格取得を通して順次構築し、工学部の電気安全教育を立案・実施したことを発展させ、現在の黒髪事業場における電気安全教育と啓蒙活動の起点となり、その中心的役割を担うに至っている。</p>

## 3 表彰式

表彰式は、平成 27 年 11 月 16 日に本学事務局棟 1 階大会議室で行われ（図 1）技術部から 3 グループが表

表彰された。我々は工学部枠から選出され「入賞」を受賞し、原田信志学長から表彰状が手渡された（図2）。  
受賞の評価は次の通り。

受賞概要：この成果は、工学部内で頻発した感電事故を受けて、自発的な活動として教職員及び学生  
に対して電気安全意識の普及活動を行い、これを黒髪地区部局へ展開したことが評価されたものである。

図1 表彰される電気安全WG



図2 学長からの表彰状授与



#### 4 まとめ

今回の受賞では、技術職員が任された仕事だけでなく、自分のスキルや知識をどのように教育や安全意識啓蒙に向けて役立てられるのか、実践を通して一つ先に進めた点が認められた。黒髪事業場における電気安全教育の重要な役割を今後もWG一同担っていく所存である。